

こども

ECOM
駿河台

「緑のフィールドワーク」第1回のご案内

～「地球を旅する渡り鳥」～

命のゆりかご“湿地”の自然について学ぼう

干潟などの海辺、川や湖沼などの「湿地」は、多くの生きものを育み、川や海の水をきれいにするなど、大切な役割をもっています。特に、海をまたいで旅をする渡り鳥にとっては、湿地はエサをとったり、体を休めるためにとても大切な場所です。

「緑のフィールドワーク」第1回は、第1部で「地球を旅する渡り鳥」をテーマに湿地の自然について学び、第2部で実際に千葉県習志野市の「谷津干潟」へ渡り鳥や生きものを観察に行く、2部構成のプログラムです。「湿地」や「渡り鳥」を通じて、地球と日本の自然について楽しく学びましょう！

くわしい内容は裏面へ！

谷津干潟自然観察センターのチーフ・レンジャーが先生だよ！！

【第1部】 2012年 8月 23日(木) 13:00～15:00

保護者の見学スペースは限られておりますので、ご了承ください。

場所: ECOM駿河台(エコムスルガダイ)

千代田区神田駿河台3-11-1(三井住友海上駿河台新館よこ)

【第2部】 2012年 9月 23日(日) 9:00～11:30

ECOM駿河台よりバスが出ます(7:45集合)/現地直行も可(8:50集合)

第2部は、保護者は必ず同伴下さい

場所: 谷津干潟自然観察センター

千葉県習志野市秋津5-1-1

対象 : 小学校3年生から6年生 定員24名

(内容は、上記が対象ですが、小学校低学年・中学生も参加できます。)

参加費: 無料

お申込: お名前(年齢)、住所、電話番号、第2部に同伴される保護者の人数をメールまたは電話でご連絡ください

第1部、第2部にそってご参加できる方を優先させていただきます。



「谷津干潟」とは？

海をまたいで旅する渡り鳥にとって大切な湿地を守るための国際的なルールが必要となり、1971年に国際条約「ラムサール条約」がつけられました。現在、160カ国がこの条約に参加しています。日本にはラムサール条約登録湿地が46箇所ありますが、谷津干潟は、東京にもっとも近い「ラムサール条約登録湿地」です。谷津干潟にはシベリアからオーストラリアまで渡る鳥たちが、やってきます。

お申込み

ECOM駿河台 担当:水谷 TEL 03-3259-3135
メール:kankyokoken@ms-ins.net

プログラムについて:



< 第1部 >

レクチャー「渡り鳥のひみつをさぐろう」

スライドで「谷津干潟の概要」、「渡り鳥の暮らし」を紹介。
そのほか、アクティビティ「渡り鳥に変身しよう」で渡り鳥の体の構造を、
「渡り体験ゲーム」で「シギ・チドリという渡り鳥の渡り」を、からだを動かしながら、学ぼう！



< 第二部 >

観察会「干潟にやってきた渡り鳥に会おう」

第1部で学んだことを踏まえ、谷津干潟に飛来しているシギ、チドリの観察をします。



ECOM駿河台について

2012年5月、三井住友海上駿河台新館のオープンにともない、新館敷地内に誕生した地域に開かれた環境コミュニケーションスペースです。環境や自然に関する情報を発信し、地域の皆様と交流していきたいと考えています。

千代田区神田駿河台3-11-1 三井住友海上 ECOM駿河台

<http://www.ms-ins.com/company/csr/ecom/>

OPEN: 10:00 ~ 17:00 (土日・祝日を除く)



こども

9月には、「安心のフィールドワーク」第1回
～災害や事故などから身を守るための駿河台安心マップづくり～ を予定しています！

イベント情報は

ECOM駿河台ホームページ(<http://www.ms-ins.com/company/csr/ecom/index.html>)

でもご案内しています。